



台風 4 号が近畿地方に接近しています。空梅雨気味で水不足が心配されていたのがウソのようです。ほどほどの雨が降ってくれたらよいのですが。

さて、6月19日(水)に二・三年生の進路説明会を行いました。入試は三年生にとっては差し迫った問題です。一方、二年生にとってはまだ時間はあるものの、平成27年度入試から高等学校の通学区域が拡大されます。この時期こそ自分の進路について十分に考えて下さい。

進路説明会での話

三年生の皆さんへ

試験が終われば夏の総合体育大会の幕が切って落とされます。三年生は今まで蓄えてきた力を存分に発揮し、悔いのない夏を送って下さい。

来週、期末考査が予定されています。今年の夏休みは高等学校オープンハイスクールに積極的に参加して情報を集めた上で、進路決定について大いに悩んで下さい。悩むことに意義があります。悩んだ結果、受験する高等学校が同じだったとしてもです。

「何故この学校を受験するのですか?」「何故この学科を選びましたか?」と問われたとき、「友達が受験するから」と答える人はいないでしょうか。自分の適正は何なのか、将来何がしたいのかについてよく考えて下さい。それが、高等学校へ入学した後も、努力し続けられるモチベーションになります。

世間ではよく「よい高校」とか「悪い高校」と言われることがあります。では「よい高校」と言われる高校が自分にとって本当に「よい高校」なののでしょうか?常陽中学校だって、皆さんの中の誰かには最高の学校でしょうが、別の誰かには最悪の学校かもしれません。中学校では自分の関心や適正にかかわらず同じ学習をしますが、これからは違います。一つ一つ自分の頭と心で判断して下さい。

ただ、好きな道を選択するということは、失敗することもあるということです。失敗したときの責任は…もちろん自分自身です。誰のせいでもありません。だからこそ面白いのです。

保護者の皆さんへ

これから約半年間は、子どもだけでなく保護者の方々にとっても“しんどい”時期になります。親として我が子の進路がつつがなく平穏に進んでくれることを願われるのは当然です。早く楽にさせてやりたい、決めてしまいたいという気持ちも理解できます。しかし、最終の判断は子ども自身にさせてやって下さい。たとえそれで痛い目にあっても、将来、きっとこの失敗が役に立ちます。人間は失敗すればつらいし痛いし、血も出ます。しかし、それを乗り越えたとき、はじめて耐える力と自信が身につきます。受験をスムーズに切り抜けることが大事なのではなく、受験という関門をきっかけにして、自分自身のあり方を考えさせる絶好の機会にしてほしいのです。

逆に、せっかくの学習の機会を安易に過ごさせてしまうのは、子どもの成長にとって大きなマイナスです。子どもが中学生ともなれば親は決して子どもの先を歩かず、子どもが不安になって振り返ったときに素早くて確かなアドバイスができるよう準備しておくことです。親もまた知恵と忍耐力が試されます。